

こぶし だより

働く障害者も
SSKW
働けるんだオレたち



「H21 花見会」（県東地域事業所）

CONTENTS

- ① トピックス 2P～3P
- ② 特集「平成21年度事業計画について」・ 4P～6P
- ③ こぶしサポーターズ 7P
- ④ アドレス・編集後記 8P

No.328

2009

4

トピックス

Topics

「こぶしの会」それぞれの現場から

第2けやき作業所・ほっとCHAからの報告

「第1回 THAT'S 談会」

三月二一日、ほっとCHA食堂。昼食後の午後二時三〇分、初の仲間同士のしゃべり場「ザッツ談会」が開かれました。

「雑談会って、なに話をしたらいいの」と、不安の声が聞こえるなか、職員からこの会の目的などの簡単な説明。「むずかしい話より、どうも気になること、例えば家の戸が閉まらない…とか、まあ、みなさんの心の小さなトゲ、ストレスなんかを話し合ってみましょう」という、ますます不安になるようなオープニング。

まずAさんの「雑草はホントに雑草か」。「牛が食べれば乳となるし、大量の牛乳は産業にまでなる」。(あら、結論でちゃったの?) 「でも、百姓の歴史は、雑草との戦いだってことも聞くけど」。(これは職員の横やり)

「確かに。それで生まれたのが除草剤だし、殺虫剤。これらのものって、ほんとに人間にいいもの?」。(Aさん、このあと、兵器の話、ナパーム弾と話が続きます)

Bさん「環境にいいか悪いかって話だったから、水素エンジン、ターボエンジンだって、ほんとに人や環境にいいのかな」。(環境問題に入っています)

ここでCさん「話題かえていい?みんな、テレビ、なに見てる?俺、最近見たいもの少ないし、BS見るようになってかとおく。なんか、他の人は何見てるのかなって」。

この質問にはいろいろ挙がりました。ニュース、天気予報、ドラマ、料理番組、落語(いま、放送は少ないと思うんですが)チロリン村とクルミの木…なんていう、ええ、みんな何歳? ひよっとして、古いテレビでは、いまだに古い番組を、放送していたりして…。

この後も参加者八名から、子供のころ見たであろう懐かしい番組名から、数年前の歌謡番組、時代劇など、ちよっと暴走ぎみになりました。

そこで、再びCさんが。「それじゃ、もうひとつあるんですが、健常者と障害者。これをみんな、どう感じて、いますか?俺は、社会

で障害を隠さず働いています。そのおかげか、差別はないと思います。

だけど、ときどき、やっぱり、ちがうんですよ。感じることもあるんです。俺には対応が違うんだなって」。

職員「健常者って、高齢者や障害者が自分の前に現れると、何かしてあげないと、何か要求されるのに応えないと…って、とくに他人の目がある所ではあせるんですよ。高齢者や障害者がいつも要求するとは限らないのに、勝手なイメージでおびえてる」。

Bさん「俺がスーパーに行く。出入り口あたりで人はきれいにすれ違う。だけど、俺が近づいていくと、右と左にすっかり分かれて、その流れが、変に乱れてしまう。それって、いったい、何なんだだろう」。

ここまでで二時間をこえてしまったのでひとまず終了を宣言。お茶碗などをかたづけ、部屋に戻ると、議論はまだ続いていたのです。最後のBさんの発言があちこちでくすぶっている感じでした。

一服しようとして外に出ると先に二人、煙草に火をつけていました。

「俺たち、そんなに人と変わってないけど」。

県東地域事業所

「合同花見会！」

四月四日、第2けやき作業所の校庭にたくさん仲間が集まりました。けやき作業所、第2けやき作業所、県東ライフサポートセンター、総勢七〇名をこえる大所帯。

そんな大勢が朝早くから集まった目的、それは春のこの時期の恒例の行事、お花見です！

もちろん単に桜を見るだけではなく、弁当班・厨房班が作ってくれたおいしいご飯や飲み物、お菓子も沢山。なんでもお団子は、清原にあるおいしいと評判のお店まで買いに行ったり。その行動力には脱帽です。ともあれ、おいしい食事やお菓子を食べながらの花見会となりました。

普段はなかなか他の事業所同士で交流する機会がない中で、こういった行事を通しての交流はやはり新鮮だった様子。いろいろな話をしたり、記念写真を撮ったりとあつという間に時間は過ぎていきました。

少々残念だったことと言えば、当日の天候と桜の様子。あいにくの曇り空となつてしまい、肌寒い一日に…。桜のほうもこの寒さに参って

しまったのか三分咲きでうつすら花が開いていたくらいでした。

あまりの寒さに耐えかねて建物内に入ってしまう仲間もちらほらと。「もう少し暖かくなればよかったね」との声もありましたが、それでも参加した仲間は皆楽しそうに一日過ごしていました。

今後もうこういった機会にいろいろな事業所が集まってイベントをやっていききたいものですね。参加した皆様、本当にお疲れ様でした！



当日初参加の仲間たちも…。

面白いものみつけた

「日本の障害者・今は昔」 出版社/こすえ
花田春兆(はなだ・しゅんちょう) 俳人、著述業

最近、この著者をテレビでお見かけすることが続いた。なんのことはない、再放送まで見ていたわけで、そつとわかっても目が離せない。二度聴いて二度笑い、倍の勇気がわいてくるという壮快な語り口。実は言語障害ありだが、だからなんだってんだという気がしてきて思わずこつちも笑い飛ばしてしまう。番組名は「このころの時代」だというのが、

春兆氏の口もとに、時おりハンカチを差し出す介護通訳者の振る舞いも流れるように美しい。

この障害者文化研究・活動家。ひよとして口うるさい頑固ジジイ？なんて無礼なことも考えてしまった。

脳性マヒにより、電動車イスで外出しては俳諧を続けるこの俳人は自らの介護度を妖怪度と呼ぶ。

ここに紹介する本書はヒルコ伝説に始まり、七福神の六人は障害者？など、日本の歴史、文化、芸能を支えた障害者。パワーを、掘って掘って掘り起こす。さらにその時代と今を考える。

尚、のちに続編も出版されそちらの方は英訳の話もあるようだ。



社会福祉法人こぶしの会 平成21年度事業計画について

特集



去る3月28日(土曜日)とちぎ健康の森において開催された第20回評議員会、及び116回理事会で承認・決定された社会福祉法人こぶしの会平成21年度事業計画・予算についてそのポイントについてご報告いたします。

はじめに

今計画は、5年前に提言された社会福祉法人こぶしの会第2次中・長期計画の実行。3つの理念と5つの事業計画を実現する為に、①こぶしの会35年の実践と論議の成果を集約した新こぶし作業所の建設②建設に伴い、法人内全事業所の自立支援法への事業移行を実施し、県央・東圏域での系統的な事業を目指すこと③そのために、法人の機能を発揮できるように組織の改革を提起したことが大きな柱となっています。

問われる中・長期計画(第2次)の执行力

こぶしの会中・長期計画(第2次)は、4年前に法人外の識者の参加も得て答申されました。理事会では、全関係者の報告会を経て、基本的には、この提言を全面的に受け止め、計画的にこの提言内容を実施していくことを確認しました。

この提言は、答申書の「はじめに」で石橋俊一策定委員長が述べられている通り、利用者・家族、全職員のアンケートやフリートーキングを経た全員参加型の計画でした。また、自立支援法への激動期を予測し、3か年の中期的な計画を設定していたものでもありました。以後、組織づくりの課題では、法人事務局、常設委員会の設置、事業開設のプロジェクトチーム、支援課題別担当者会議を設置をし、障害者自立支援法による激変を、関係者の運動と、これらの組織的な経営を進める中で今日に至っています。

しかし、この計画推進の責任主体である法人事務局(総務・企画)の脆弱性が問われ、その専従化が大きな課題となっていました。それは、計画期間を過ぎた現在においても、これら設置された各法人機関の目標達成度や基本的理念の認識の違い、未だに残っている事業所別の経営体質として現れ、法人の一体感を創り出すには至っていませんでした。今年度は、事業移行を前にした経営環境激変の中で、それへの対応と経営体質の強化が求められており、法人の一体化を築いていくラストチャンスとして位置づけた計画です。

法人機能を組織の改革

まず、積年の課題であった法人事務局とも言うべき、総務・企画部(法人庶務・事業企画、財政管理機関)の設置と常務理事を始めとする職員の専従化です。法人の経営主体である理事会の日常的な事務局が設置され、法人の体系的経営を可能にします。

また、交流、学習の要素が強かった担当者会議を、方針提案機関として位置づけ、地域福祉支援2部(就労支援部、地域生活支援部)として設置して、担当部長を置き、課題毎に5つの課を設定、各課に担当課長(または、課長代理)を置きました。これにより、就労支援、生産活動、相談支援、居住支援、重度・重複障がい者の支援を課題とする活動支援や事業計画の提案が各事業所の枠を越え、法人が責任を持って、また専門小集団として研究・協議、計画提案、計画の進行管理をすることになります。

最後に、各事業所・作業所は、基本的に法人の計画を受け、3地域(宇都宮・真岡・芳賀地域)の事業を総合的に進めていきます。そのために、地域事業部を置き、部長を置きます。ここでは、特に、家族会・後援会を中心とした地域関係機関、住民との連携や共同に責任を持って取組んでいくこととなります。各事業所・作業所のこうした課題を総括的に進めるため、全地域事業所の横断的協議の場として、地域事業部長統括の基、運営会議を開催します。

これらの新しい部、課制度の体系的協議の場として、部長、部長代理による経営会議を開催します。また、常設委員会(事業・財政計画、人事、教育・研修の各委員会)は、法人レベルのそれぞれの重要課題を具体化し、経営委員会を経て理事会に提案されます。こうして、法人内の多くの力は、縦系、横系が交差し、経営に集約されることとなります。

事業起こしの計画（4つのプロジェクト）

現在、中・長期計画に上った事業開設のプロジェクトは、4つ設置されています。いずれも計画策定時に、全利用者にアンケートをとり集約した、切実な要望に基づく施設・事業の整備です。

中・長期計画では、こぶし作業所建設プロジェクト（①現、同名の委員会）、重度・重複障がい者の暮らしの場プロジェクト（②現、芳賀町バリアフリーケアホーム建設プロジェクト）、精神障がい者社会復帰施設充実推進プロジェクト（③現、市貝町店舗開設プロジェクト）、④現、精神事業移行（店舗開設事業）プロジェクトとして計画されていたものです。

今年度は、なんとといってもこぶしの会の経営の成果を凝縮したこぶし作業所建設が最大の事業となりますが、バリアフリーケアホームの建設も、こぶしの会発足当時からこぶしの会をバックアップしていただいた家族の方々の暮らしを支える意味でも待ったなしの課題です。この大きな目標を、今年度の組織改革により、法人職員と関係者が一体となって知恵と力（資金活動）を集めながら、新たな資源づくりが求められているところです。

法人も一つ。利用者、支援者も一つになって。

法人の組織・機能を体系だてたところに、今回の事業計画の最大のポイントがありますが、さいごに、真に、理念実現を目指すためには、法人を支える3つの組織の統合が課題となります。今後、法人の窓口は一本化されていきますが、このことは、障がい者の豊かな生活を地域で実現するためには、職員が現場で孤立しないように、みんなで相談しながら責任や負担を分かち合い、力を集めること、掛け声だけでなく理念を現実のものにするために、法人の組織の改革をすすめてきたように、利用者・家族、地域の支援者も、事業所別、地域別に組織されるだけでなく、大きなまとまりとしてその力を発揮する組織のあり方について検討されることを提案するものです。

経営としての期待されるリーダーシップと関係者の共同と参加。こぶしの会の未来は、ここに係っているといっても過言ではありません。

予算のポイント

こうした、計画を財政的な観点からみるとともに、今年度予算の特徴を挙げてみます。

- ① 組織改革による総務・企画課職員（3名）や事務費等の経費として、4事業所より各380万円（1,520万円）を法人経理区分へ支出しています。
- ② こぶし作業所建設資金として、国・宇都宮市の補助金2億4百60万円、同建設寄付金（募金目標）が2千万円、3千万円を医療福祉機構より借入。計2億5千4百万円の建設費を計上しています。
- ③ そのほかの予算として特徴的なことは、皆様のご支援により、自立支援法の若干の見直しがあり、全体として10%の自立支援費等収入の増があり（特に、生活介護事業、居住支援事業等、重度障がい者やケアホーム関連の報酬単価が上がりました。）、その他の補助金収入を合わせ、法人全体で、3億7千5百万円を超えました。但し、支援費制度の水準には至っていません。
- ④ 支出の特徴は、自立支援費等収入、その他の補助金収入の80%が人件費支出です。
- ⑤ さいごに、予算書には現れませんが、各事業別の会計を法人として一体的に管理していくことが今年度の最大の財政課題といってよいでしょう。事業計画を体系化し、それに伴う予算管理も体系立てていかなければ計画が実態のないスローガンで終わってしまうからです。

障がいある人々を真ん中に、連帯を瞳のように大切に

さいごに、35年前、こぶしの会を創った先輩の方々は、社会生活から疎外されていた障がいある人々の実態をみて、その人間として当たり前の生活への復帰を願いました。そのために必要なものは、人も、知恵も、お金もない、ないないづくしの中からこぶしの会は生まれました。あるのは、社会的弱者への共感と地域社会も含めた幅広い連帯へのねばり強い志でした。35年前の障がい者の暮らしは根本的に変わったといえるのでしょうか。これらこぶしの会の財産をはるか昔の思い出でなく、将来にわたって引き継ぐべき大切なものとして、今年度の事業計画で再確認したいと思います。

2008年度資金収支予算書(総括表)

会計区分	全事業所総計			法人本部			就労支援会計			一般会計			公益事業会計			収益事業会計									
	13経理区分			5経理区分			09予算額			08予算額			09予算額			08予算額			09予算額			08予算額			
	09予算額	差額	08予算額	09予算額	差額	08予算額	09予算額	差額	08予算額	09予算額	差額	08予算額	09予算額	差額	08予算額	09予算額	差額	08予算額	09予算額	差額	08予算額	09予算額	差額		
活動区分・科目	09予算額	差額	08予算額	09予算額	差額	08予算額	09予算額	差額	08予算額	09予算額	差額	08予算額	09予算額	差額	08予算額	09予算額	差額	08予算額	09予算額	差額	08予算額	09予算額	差額		
に属する就労支援活動支出	61,627	4,304	57,323	0	0	0	61,627	4,304	57,323	0	0	0	60,944	615	60,329	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
に属する就労支援活動収入	60,944	615	60,329	0	0	0	60,944	615	60,329	0	0	0	60,944	615	60,329	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
に属する就労支援活動収支差額	683	-3,006	683	0	0	0	683	-3,006	683	0	0	0	683	-3,006	683	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自立支援費等収入	337,129	305,585	31,564	0	0	0	266,521	252,011	14,510	70,608	53,554	17,054	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補助事業等収入	48,176	55,392	-7,216	0	0	0	5,425	12,338	-6,913	25,417	26,086	-669	17,334	16,968	366	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	1,578	1,695	-119	0	0	0	0	0	0	1,180	1,299	-119	0	0	396	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寄付金収入	2,150	2,733	-583	30	30	0	2,090	2,703	-613	30	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収入	8,713	7,565	1,148	1	0	0	6,641	5,698	943	2,071	1,967	204	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金利息補助金収入	0	65	-65	0	0	0	0	65	-65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取利息配当金収入	128	142	-16	34	34	0	67	112	-45	24	25	-1	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取利息配当金収入	9,516	7,466	2,050	396	392	4	1,887	2,569	-682	7,233	3,377	3,856	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会計単位間繰入金収入	17,425	4,774	12,651	15,200	1,800	13,400	2,225	4,774	-2,549	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経理区分間繰入金収入	385,397	39,414	345,983	15,657	2,257	13,400	284,856	280,270	4,586	106,563	86,238	20,325	17,339	18,493	396	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業収入計	424,811	254,522	170,289	13,051	0	13,051	189,616	190,394	-778	63,160	50,738	12,422	12,610	13,390	-780	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費支出	57,013	64,179	-7,166	2,206	2,257	0	34,942	43,771	-8,829	15,455	15,568	-113	4,410	4,836	-426	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務費支出	53,824	51,479	2,345	100	100	0	32,309	31,654	655	21,096	19,825	1,271	119	119	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金利息支出	433	484	-51	0	0	0	298	334	-36	135	150	-15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会計単位間繰入金支出	9,516	7,466	2,050	0	0	0	7,233	4,897	2,336	1,887	1,853	234	0	0	524	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経理区分間繰入金支出	17,425	4,774	12,651	17,425	4,774	0	17,425	4,774	12,651	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業支出計	416,448	382,904	33,544	15,357	2,257	13,100	281,823	275,824	5,999	101,733	87,934	13,799	17,139	18,750	-1,611	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動資金収支差額	8,383	2,493	5,890	300	300	0	3,033	4,446	-1,413	4,830	-1,696	6,528	200	-257	457	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等補助金収入	204,600	0	204,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等寄付金収入	21,660	2,160	19,500	500	500	0	1,860	2,160	-300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等収入計	226,260	2,160	224,100	500	500	0	1,660	2,160	-500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出	257,741	10,803	246,938	2,200	2,200	0	2,341	10,175	-7,834	500	628	-128	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
元入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等支出計	257,741	10,803	246,938	2,200	2,200	0	2,341	10,175	-7,834	500	628	-128	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等資金収支差額	-31,481	-8,643	-22,838	-30,300	-1,700	-28,600	-681	-8,015	7,334	-500	-628	128	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金収入	30,000	0	30,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
種立金取崩収入	0	2,200	-2,200	0	0	0	2,200	-2,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の収入	0	62	-62	0	0	0	0	62	-62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務収入計	30,000	2,262	27,738	30,000	2,200	2,800	0	2,262	-2,262	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金元金償還金支出	2,661	2,661	0	0	0	0	2,009	2,009	0	652	652	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立金積立支出	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の支出	3,010	3,074	-64	0	0	0	2,324	2,524	-200	486	339	147	200	211	-11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務支出計	3,672	5,736	-2,064	0	0	0	4,334	4,534	-200	1,138	891	147	200	211	-11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動資金収支差額	24,328	-3,474	27,802	30,000	2,200	27,800	-4,334	-2,272	-2,062	-1,138	-991	-147	-200	-211	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計	1,893	-12,630	14,523	0	500	-500	-1,299	-8,847	7,548	3,192	-3,315	6,507	0	-468	468	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前期末支払基金残高	101,690	114,320	-12,630	3,610	3,110	500	84,935	97,442	-12,457	13,088	16,403	-3,315	7	475	-468	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期末支払基金残高	103,583	101,690	1,893	3,610	3,610	0	83,636	88,595	-4,909	16,290	13,088	3,192	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※各会計区分と経理区分
 I 就労支援会計・5経理区分 ①こぶし作業所
 II 一般会計・13経理区分 ①～⑧ けやきハウス等ケアホーム・グレル・ブホーム
 III 公益会計・4経理区分 ①けやき作業所生活介護事業 ②県東ライフサポートセンター
 IV 収益会計・1経理区分 ①チャレンジセンター ②～④日中1時卒業
 ④第2けやき作業所
 ・就労移行、就労継続事業
 ⑩芳賀地区障害児者相談支援センター

サポーターズ

こぶしSupporters

後援会
保護者会・ボランティアのページ

～ こぶしの会を地域の大切な社会資源に育てるため、私たちは強力にバックアップします～

セルフ・みらい後援会会長 岸 勇次 氏

今回は、みらいの開所当初から後援会員に加わっていただき、3年前からセルフ・みらいの後援会長として、時にはボランティアとしても支えてくださっている岸さんに登場していただきます。長年お勤めになられた前職を退職後も、忙しい時間（透析患者の方の送迎ボランティア、小学校や高齢者施設での歌や語り部のボランティア、結婚相談員等）を過ごされています。



では、さっそくインタビュー。

1. セルフ・みらい（こぶしの会）に関わるようになったキッカケは？

長く勤めていた会社を定年退職後に、亀山地区に配布されているみらいニュース（セルフ・みらいの広報紙）に掲載されていたプールボランティアの募集を知ったのがはじまりでした。もともと、退職後にはボランティアをしたいと思っていて、会社の先輩から「会社以外に、地域との関わりができる」との言葉をもらって、シルバー大学に通って、学んだことを地域に返していきたいと思い、いまもいろんなボランティアをしているんですよ。

2. 後援会長としてセルフ・みらい（こぶしの会）のサポートを続けてくださっている理由は？

後援会には保護者の女性ばかりで、地域での対外交渉等で自分にできることがあればと思い、理事を経ていつのまにか会長にまでなってしまったのです(笑)。セルフ・みらい以外にも様々なボランティアを現在もつづけていますが、みらいを訪れると、なかまが笑顔で出迎えてくれ、ハーモニカで演奏したり、歌を歌ったりと、なかまとのふれあいでなかまの喜んでくれる姿を見ることができると嬉しいですね。

3. セルフ・みらいの良いところ・悪いところ。また、今後期待することはなんですか？

- セルフ・みらいの雰囲気明るく、げんきがあって良い。明るい職場でないとなかまも職員も良い仕事ができない。
- 職員のお給料が安く、お給料が仕事をがんばる要因でもあるのであげてほしい。
- なかまの仕事も、もっと効率のいい収入の多い仕事を保障してあげられたらと思う。
- 今後、新事業や新しい取り組みをはじめていく場合には、現場の福祉の専門家だけではなく、行政や地域住民、各分野の専門家等を交えた意見交換の場を定期的に行ったほうが良いと思う。

ありがとうございました。今後とも、こぶしの会とともに、ステキな真岡市をつくっていきましょう。次回もいろいろな場でこぶしの会をバックアップしていただいている人々が登場しますよ。

社会福祉法人 こぶしの会

- こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
・知的障害者通所授産施設
・日中一時支援事業
TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp
TEL 028 (613) 5703
 - こぶし作業所生活支援センター
 - こぶしのときわ荘 ☎321-3235 栃木県宇都宮市鎌山町字東原146-7
・知的障害者ケアホーム
TEL 028 (667) 5531
 - くるみ ☎321-0912 栃木県宇都宮市石井町字内野2867-3
・知的障害者ケアホーム
TEL 028 (664) 0414
 - けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
・知的障害者通所授産施設
TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
・日中一時支援事業
E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
 - 生活介護事業けやき作業所
 - 生活介護事業
 - 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
・就労移行支援事業
TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
・就労継続支援B型事業
E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
 - 県東ライフサポートセンター ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
「ほっとCHA」
TEL 028 (687) 0311
・地域活動支援センター
 - 県東ライフサポートセンター「真岡」 ☎321-4305 栃木県真岡市荒町3-9-5
・地域活動支援センター
TEL 0285 (83) 2567 FAX 0285 (83) 2567
 - すずらの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
・知的障害者グループホーム
TEL 028 (677) 4430
 - けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
・知的障害者ケアホーム
TEL 028 (677) 2876
 - 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4
・精神障害者グループホーム
TEL 028 (677) 0776
 - コーポ峰 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井775-2
・知的障害者ケアホーム
 - セルプ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
・知的障害者通所授産施設
TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
・日中一時支援事業
E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
 - ぼてっと ☎321-4364 栃木県真岡市長田字北原1451-2
・知的障害者グループホーム
 - 芳賀地区障害児者相談支援センター ☎321-4305 栃木県真岡市荒町110-1 市総合福祉保健センター内
・在宅障害(児)者の相談・支援
TEL 0285 (80) 7765 FAX 0285 (80) 7765
 - 県東圏域障害者就業・生活支援センター「チャレンジセンター」 ☎321-4305 栃木県真岡市荒町111-1
・障害者の就業相談・支援
TEL 0285 (85) 8451 FAX 0285 (85) 8452
-
- 法人事務局(総務・企画部) ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
TEL 028 (613) 3707 FAX 028 (666) 6128
E-mail sphb8h99@jewel.con.ne.jp

本会の定款、事業計画、財務諸表等を閲覧ご希望の方は、各事業所までお申し出ください(閲覧時間8:30~17:00)

編集後記

■Bさんの家の付近まで迎えに行った時のことです。彼は今回の「That's 談会」での最後の部分、「俺に向かう人の流れは、俺の前で二手に分かれる」という発言で、参加者全員の心を鷲づかみにした青年です。彼は最近、施設の厨房で働いています。車中、「どう、仕事、面白い?」と聞きました。「いいです。好きです。雰囲気か」。「がんこ親父がいるラーメン屋とか、そんな店、あるよね。食べ方はこうだとか、そうできなきゃ帰れとかさ。それをありがたがる客。これって、日本だけだろうな」と私が続けます。「外国からやってくる観光客だって、楽しむ人もいます。それも文化ですから」。さらに私、「インドにカレーの勉強に行ってきた友達がいるのよ。もう二回目。前はツアーだったからって。そいつが言うには、今回わかったこと、『片手は飯をにぎるため、あと片手はハエをはらうためだ』と言うの」。「それも文化です。ハエも、両手も文化です」と答えるBさんに振り向き、私は思いました。ひょっとして、インドの片田舎で、こんな青年を求めているんじゃないか。韓国で、ブラジルの小さな村で、北海道の端の老人ばかりの町で、こんな人物を待ち望んでいるんじゃないか。このひとりの青年、その可能性を閉じ込めたりしてはいないか。若いっていいなって、わたしだって言われたことがあったなあ。(矢板)

編集委員

矢板 勉 松本 裕生 河原 とき子 菊地 豊 星野 早苗 稲村 淳彦

お詫びと訂正

こぶし前号(1・2・3号)の2ページの写真の名前『大橋義一』さんを『大橋義章』さんと誤って掲載してしまいました。謹んでお詫び申し上げます。以後このようなことのないよう、留意いたします。

発行所 郵便番号二五〇〇三三

東京都世田谷区砧六―二六―二一
特定 福利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円